

楽器づくりと演奏ワーク（熱中市民サポート助成金事業）

2011年7月30日（金） 於 和泉シティプラザ

☀ 体験レポート

私を含め音結スタッフの数人は事前にレクチャーを受け、製作を経験し、重労働である事は理解していた。それにしても当日の参加者のほとんどが女性と（男性であっても）子供であり、高齢の方もいて作業は大変であった。

貴重な男性スタッフとして、できるだけ各参加者を回り、お手伝いしスムーズに進めようと努めたが自身もバテてしまい、ほとんど限界であった。それでもなんとか時間内に全員が作りあげる事ができ、皆その達成感と、作った楽器のきれいな響きもあって喜びの表情を見せてくれたことで、私も疲れが吹っ飛んだ。作業時間がオーバーしたために、製作後の演奏体験（ワークショップ）の時間が短くなってしまったのは残念である。電動のこぎりを使うなどすれば、もっとスム



ーズかもしれないが、それでは手作り感がなく達成感も得られない。また、のこぎりで木を切る作業は危険も伴い、手袋着用を絶対としても、事故はありえたのではと思う。作業難易度としても、完成させ達成感を得られるぎりぎりのところで、あれ以上きつかったら仕上げられないし、不満も出たのではと思う。そのあたり事前に十分に検討しておく必要があると感じた。

どこにでもある竹やぶの竹からでも、このように美しい音色の楽器ができる。現代の私たちは楽器というのはあらかじめ加工され、楽器として出来上がったものしか知らないが、本来、自然の中に音はあふれ、それらを取り出し奏でるのが楽器であると改めて感じた。

参加者の皆、心地よい疲れと達成感の中で、音を奏でる事の喜びを感じる事ができた一日になった事と思う。
(池田吉宏)



- ◎参加者の感想
- のこぎりも糸のこも電動ドリルも殆ど使った事がなく、作るのは大変でしたが、楽しく、達成感があり良かったです。
- 日常では手に入らない太い竹を利用して心地よい音色の楽器が出来てうれしいです。チョット失敗もしてしまったのですが、出来上がった時は喜びひとしおでした。合奏も楽しかった有り難うございました。

ワークさつき

重症心身障害児(者)通園事業B型

この度5回シリーズ講習会第1回目終了後、お電話を頂き、22年10月より月1回スタッフ2名で音楽レクリエーションとして出かけております。

職員さんより、「毎回皆さん楽しみにしてくださっています。何より、活動に参加する利用者さんを見、職員の自分達の今までは？」と言葉を頂きました。この言葉を励みに利用者さんの内在する力を引き出せるよう楽しい時間を持ちたいと思います。

トーンチャイム、チュール、と皆さんに喜んでいた

だき、特に施設でも普段から利用できるようにと、チュール購入にでかけていただけると聞きました。

(渡邊 孝子)

